

令和5年度デジタル田園都市国家構想交付金(地方創生拠点整備タイプ)事業評価書

担当課: 体育施設整備課, スポーツ課, 観光課

1 事業概要

事業名	東町運動公園体育館集客力向上プロジェクト						
総合戦略における位置付け	基本目標	Ⅱ 新たなひとの流れを生み出す					
事業目的	本体育館は、中心市街地からアクセスが良く、日本三名園の一つである偕楽園に近接するなど、恵まれた立地環境にあることから、高い利便性、潜在的な集客力を備えた施設である。多様な利用者ニーズに応えるため、必要な改修を行い、魅力ある都市型のアリーナとして機能を充実させることにより、スポーツにとどまらない幅広い利用を促進し、施設の稼働を高めていく。本施設を核として、地域全体の交流人口の拡大を図るため、プロスポーツチームを通じた地域間交流の促進に加え、これまで開催のなかった分野においてもコンベンション誘致活動を積極的に展開しながら、集客力の高い施設として、ブランド力や付加価値を更に向上させていく。						
事業期間	2020(令和2)年度～2024(令和6)年度						
事業費(千円)	総事業費	2020 (令和2) 年度	2021 (令和3) 年度	2022 (令和4) 年度	2023 (令和5) 年度	2024 (令和6) 年度	
交付金対象	148,500	65,180	83,320	0	0		
交付金(交付率50%)	74,250	32,590	41,660	0	0		
事業内容	東町運動公園体育館へのコンベンションの誘致を推進するため、体育館メインアリーナに多様な懸垂物を吊るすことができるトラスフレーム及び日本最大級の大型映像装置等を設置し、迫力ある演出効果を生み出せる魅力ある施設として、スポーツにとどまらない幅広い利用の促進を図ることにより、多様な交流、にぎわいを創出し、まちなか全体の活性化につなげていく。						

2 本事業における重要業績評価指標(KPI)の達成状況と評価

(1) KPIの達成状況

KPI項目		基準値 2018(平成30)年度	目標値 2023(令和5)年度	実績値 2023(令和5)年度	【参考】目標値 2024(令和6)年度
1	東町運動公園体育館来場者数(千人/年)	196	221	335	226
2	観光交流人口(千人/年) ※市内全域	3,676	4,500	2,462	4,660
3	誘致活動によるコンベンション開催数(件/年) ※市内全域	146	166	59	170
達成率平均値 (実績値-基準値)/(目標値-基準値)			-9%	達成度	地方創生にあまり効果が見られなかった(50%未満)

(2) 評価

評 価
スポーツにとどまらない幅広い分野における施設の活用を促進し、集客力の向上を図るため、令和3年度に大型映像装置やトラスフレームを整備した。 また、令和4年度には、施設の機能向上を目的として、メインアリーナセンターコートを照らすLED照明を設置するとともに、会議室等にWi-Fi環境を整備した。 体育館の来場者数については、大規模イベントやプロスポーツ興行等の開催により年々増加しており、目標値として設定した来場者数を大きく上回っているものの、観光交流人口やコンベンション開催数については、目標値を下回っていることから、コンベンションの積極的な誘致活動を展開していく必要がある。

3 今後の取組

方針	主な取組
事業を継続していく	施設の幅広い分野における活用促進を図るとともに、主催者等と連携をし、大規模大会やイベント等の開催に向けた調整を行う。 また、Bリーグプレミアにおけるホームアリーナ基準の充足や市民の利便性の向上のため、施設の改修を行い、にぎわいの創出や地域経済の活性化につなげていく。 施設の改修に当たっては、多額の費用が必要であることから、企業版ふるさと納税を活用し、財源確保に努めていく。